

2021年度第8回1月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 2022年1月
2. 開催の場所 各委員に資料を郵送して番組をお聞きいただき、
意見・感想を返信してもらう形式で開催
3. 委員の出席 委員総数9名
返信総数8名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	副委員長	河又弘子
	委員	竹内明子
	委員	古口 悟
	委員	富田哲夫
	委員	大森玲子
	委員	石松英昭
	委員	大出正志

4. 議 題

- (1) 日替りコメンテーター出演コーナー（アクセント内）
毎週月～木曜 16:10～16:25 （15分番組）

- (2) その他

5. 議事内容

(1) 日替りコメンテーター出演コーナー（アクセント内）

番組視聴：放送した番組を各委員に送付して試聴していただいた

議題説明：学識経験者や報道関係者、NPO 法人理事長など、日替りでコメンテーターが出演して行政、地域、経済、人権、スポーツ、娯楽など様々な話題の中からその日のテーマで話してもらうコーナー番組。

各委員からは、

- その道のプロの話を知ることができる企画は、映像や人物画像などを目に見ないで済むラジオの特性に合っている。各コメンテーターの個性が見事に醸し出されていて飽きることなく聴くことができた。
- 話がぼやけることなく丁度良い 15 分で、コメンテーターはリスナーに聞き飽きさせないトークだった。日替りで話題は多岐にわたっていてよい。リスナーの興味を引くキーワードがポイントになる。
- テーマは時事を捉えていて、各コメンテーターの分析や情報に基づく見解が示されており、楽しみに聴くことができる番組と感じた。各曜日にタイトルがついているが、統一感を持たせるためにゆるく横串がさせるようにメインテーマを置いたほうが良いのではないか。
- コメンテーターが様々な分野で興味深い話題を提供しており、役に立って耳に入りやすい番組と感じた。パーソナリティーが 15 分うまくまとめていた。交通事故の話題では、最後にご遺族の方々の悲しみを伝えていたのが交通事故死を改めて考えることを提起できていたと思う。
- みんなが知らない様々な情報やコメントなどが話されていて、興味深く聞くことができ、面白いコーナーがあると思った。全体を通して聴くとコーナーのコンセプトや趣旨が何なのかわかりづらい。お役立ち情報や注意喚起などそれぞれに絞った番組にした方がより聴いてもらえるのではないか。BGM が曲調のせいか、急かされるように聞こえて耳障りに感じた。15 分続くと誰かわからなくなることがあるので、呼びかけで名前を出したり、わかるようにしてもらえるとよい。
- 夕方の時間帯に最近の身近なテーマを取り上げ、専門家からの開設で現状などを踏まえながらリスナーに分かりやすく話している。バラエティに富んだ比較的軽いテーマで、番組パーソナリティーとのやり取りを含めて気軽に聴くことができた。

○各コメンテーターならではの「へえ～」と思わせる情報や番組パーソナリティとの会話の妙があって面白いと思う。どこかで聞いたり読んだりした話ではつまらない。音だけのメディアのラジオはそのような特徴が如実に表れてしまうとを感じる。15分は長いと思う。10分以内のほうが飽きずに焦点も絞られて良いのではないか。高卒認定試験の話題は驚きがあった。こうした話ほど聴きたい。

○15分という短い時間だが、話の展開によっては深掘したり自分なりの見方で話題を紹介できるコーナー。すでに報道されている事の紹介だったり、解説者自身の視点からのコメントがなかったりした日がある一方、あまり知られていない制度を実例を交えてわかりやすく解説したり、地元的话题を興味深く解説したりしていた日があった。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

- ① 当社の番組「栃木放送からのお知らせ」
(2022年2月6日(日) 午前8時5分放送)
- ② 当社のホームページに掲載(2022年2月10日～)
- ③ 当社事務局に議事録備え置き(2022年2月10日～)

以上